

## 第 45 回地域産学官と技術士との合同セミナー（高知）

The 45rd Seminar of Industry, Univ, Govt, and PEs in Kochi

松本 洋一

Matsumoto Yoichi

### 1 セミナー概要

2025 年 10 月 3 日（金）、高知市の高知会館にて、第 45 回地域産学官と技術士との合同セミナーを開催した。テーマは「川と暮らし、川と育む～防災・環境・観光が共存する持続可能な河川活用～」である。天羽四国本部長、神田副会長の挨拶に続き、高知県知事から祝辞（代読：高知県土木部副部長大野氏）をいただいた。



写真 1 挨拶（左より天羽氏、神田氏、大野氏）

表 1 プログラム

- |   |
|---|
| 1. 開会挨拶・来賓祝辞（13:00～13:15）<br>公益社団法人日本技術士会四国本部本部長 天羽誠二氏<br>公益社団法人日本技術士会副会長 神田淳氏<br>高知県知事 濱田省司氏<br>（代読：高知県土木部副部長 大野栄一氏） |
| 2. 基調講演 1（13:20～13:50）<br>講師：渡邊国広氏 国土交通省四国地方整備局<br>高知河川国道事務所所長  |
| 3. 基調講演 2（13:50～14:20）<br>講師：石川妙子氏 水生生物研究家  |
| 4. 基調講演 3（14:20～14:50）<br>講師：松浦秀俊氏 物部川漁業協同組合 組合長  |
| 5. 基調講演 4（14:50～15:20）<br>講師：黒笹慈幾氏 南国生活技術研究所 代表   |
| 6. パネルディスカッション（15:30～17:00）<br>コーディネーター：黒笹 慈幾氏<br>パネリスト 産：松浦秀俊氏 学：石川妙子氏<br>官：渡邊国広氏<br>技術士：有川崇氏 近自然河川研究所 代表            |
| 7. 懇親会（17:15～19:15）   |

### 2 基調講演 1

「物部川における治水の歴史と総合土砂管理の始動」と題して、渡邊氏に話題提供していただいた。治水の歴史については、古くは土佐日記（紀貫之）の時代から江戸時代の絵図も用いたわかりやすい解説であった。物部川の最近の課題のひとつは、土砂移動が関係する瀬・淵の消失など河川環境の悪化であり、漁協と連携した積極的な土砂流送による鮎産卵場への土砂供給などの取組についてお話していただいた。



写真 2 渡邊氏ご講演

### 3 基調講演 2

「豊かな川を未来へつなぐために」と題して石川氏に話題提供していただいた。水生昆虫は、多様な生物が生息する川の豊かさを示すものである。講演は、災害から命を守る河川改修の必要性和豊かな川を将来に残すことをいかに両立するか、聴講者に問いかけるものであった。



写真 3 石川氏ご講演

#### 4 基調講演 3

「課題解決先進河川」を“共に”めざして」と題して松浦氏に話題提供していただいた。物部川は、かつては川魚や漁業者にとって恵みの川であった。流域は、肥沃な土地でもあって灌漑や発電のため川の姿は大きく変わってしまった。漁協は、鮎やウナギなどの増殖に適した川でなくなってしまいうことに危機感を持っており、課題解決への取組についてお話しいただいた。



写真4 松浦氏ご講演

#### 5 基調講演 4

「流域の人々の暮らしに寄り添う河川管理のあり方とは？」と題して、黒笹氏に話題提供していただいた。黒笹氏は、「釣りバカ日誌」主人公の浜崎伝助氏のモデルとなった人物である。釣り人や移住者の視点から、仁淀川の景観や親水性の高さ、生物の豊かさについて純粋な驚きを語られた。そのうえで、今の時代に必要な河川管理のあり方について問題提起していただいた。



写真5 黒笹氏ご講演

#### 6 パネルディスカッション

パネルディスカッションでは黒笹氏をコーディネーターに産学官および技術士の4名のパネリストが議論を行った。

産の松浦氏からは、有川氏が技術者として漁協の思いを川づくりに反映する重要な役割を果たしており、今後も流域のあらゆる関係者と連携して取組を進める重要性を強調された。

学の石川氏からは、将来の川づくりのために、子ども達に沢山の川文化を体験してほしい。そういう場所づくりも大切であること、水生動物の生活史に想像力を働かせ、河川整備を進めてもらいたいとご意見をいただいた。

官の渡邊氏からは、今後の河川管理や多自然川づくり政策を進めるにあたって、川に最も近く、川をよく知る存在である地元の建設コンサルタントや施工業者の果たす役割が重要であるとのお話をいただいた。

技術士の有川氏は、「ネイチャーポジティブを実現するかわづくり」のためには、環境の保全だけでなく、失われた良い環境を積極的に創出していくことが求められ、地元の技術者が課題の解決策を提案していくことが大事であると提言された。



写真6 パネルディスカッション  
(左より松浦氏、石川氏、黒笹氏、渡邊氏、有川氏)

#### 7 おわりに

セミナー参加人数は、184名（会場145名、WEB39名）と盛会であった。セミナーは、今後の川との向き合い方について示唆に富んだ内容となり、意義深いものであったと感じている。

松本 洋一（まつもと よういち）

技術士（建設部門）

（株）第一コンサルタンツ

e-mail :

y-matsumoto@daiichi-c.co.jp

